

シリーズ「未来の高山」

～ふるさと高山への思い～③

市制施行80周年を記念し、小学4年生～中学3年生を対象とし「未来の高山」というテーマで作文を募集しました。最優秀賞作品をシリーズで紹介しますので、子どもたちの思いにふれてください。



「優しい」街へ

中山中学校3年 松木園 萌々

私は、この高山が「優しい」街であって欲しいと思います。

街が街として発展していく為には、そこに住む人々が必要です。だから当然「人に優しい」必要があります。しかし、「人に優しい」街とは一体どのようなものなのでしょう。

最近、高山駅の改装を中心として、あまり都会とは言えないこの高山でも開発が進んでいます。今まで小さな店舗がまばらにあったり、そもそも高山に無かったりして不便だった事が、どんどんできるようになってきました。欲しかったものが買えるようになったりして苦労しなくて済むことが増えてきたと思います。この開発が進んで行けば、今まで時間がかかって中々来られなかった人も高山に来てくれるようになり、もっと豊かな街になっていくと思います。

しかし、本当にそれで良いのでしょうか。これが本当に、「人に優しい」街といえるのでしょうか。

高山といえば、と言われて思い付くものの中に「古い町並み」そして「美しい自然」があります。ただ開発していくだけでは、この二つはいつか無くなってしまってしまうでしょう。

まずは「古い町並み」。昔ながらの建物の並ぶ町は、まるで別の時代に来たように感じられます。長い歴史があるからこそ出る良さがあると思います。同じものは、もう新しく作ることはできません。その町並みを壊すような開発はして欲

しくありません。

次に「美しい自然」。私は、これが一番心配です。

新しいものを建てる為には、それなりの材料、そして土地が必要になります。その土地を得る為に、山を開拓し、木を切り倒します。

美しい自然が失われれば、高山の魅力が1つなくなってしまうこととなります。また、木や山があることは、高山に住む人々の、そして地球を守ることに繋がります。木が無くなれば、雪の多い冬には雪崩が起き易くなるだろうし、夏の暑さは更に酷いことになるでしょう。また、地球温暖化にも影響を与えようと思います。

これではとても「人に優しい」とは言えません。そこで、「人に優しい」街とは、「歴史を重んじる」街、「自然に優しい」街だと私は考えます。

地方の過疎化が進む中、街を活性化させる為に街を作り変えていかなければならないのは、仕方のないことだと思います。何かをなすためには成長しなければならぬからです。

その成長をどのような形でなすかによって、結果は変わってくるのではないのでしょうか。時間をかけてゆっくりでも、「歴史を重んじ」「自然に優しく」すること、私の願う、皆の願う「人に優しい」住み易い街になるのではないのでしょうか。

私には将来の夢があります。その夢を叶える為には、大きな都市へ出て大学で学ぶ必要があります。

初めは凄く悩みました。この大好きな高山を離れたくなかったからです。でも今は、勉強をがんばって大学に行きたいと思っています。離れている間はさみしいかもしれないけれど、戻ってきた時にはきっと優しく迎えてくれる。そんな「優しい」街であると信じているからです。だから、高山から出て、逆に帰ってきて、この「優しい」高山を感じられるようにできることからやっていきたいです。

冬のイベント情報

飛驒高山から元気を発信！

飛驒の里・冬のイベント

●花餅お鏡つくり実演・花餅体験

期日 12月17日(土)～18日(日)

時間 午前10時～午後3時

場所 前田家

●クリスマスライトアップ

期日 12月23日(金・祝)～25日(日)

時間 午後5時30分～9時

※場所はいずれも飛驒の里(上岡本町1)です。

※市民の方は市内在住が確認できるものを窓口で提示すると入館無料になります。

問合せ先

飛驒民俗村
☎34-4711

市指定文化財 太刀公開

市指定文化財の太刀(銘 来国光)を公開します。

期日 12月17日(土)～平成29年2月26日(日)

※年末年始、毎週月曜日は休館

時間 午前9時～午後4時

場所 上宝ふるさと歴史館

(上宝町本郷)

※入場無料です。



問合せ先

文化財課
☎35-3156